

## 歴史改ざんの次は憲法9条改悪の主張！

### 田母神前空幕長、参院外交防衛委員会参考人招致

## 空前前トツブの異常で危険な言動を断じて許すな！

2008年(平成20年)11月11日(火曜日) 中日新聞



参院外交防衛委で参考人招致され、答弁を求め挙手する田母神俊雄・前航空幕僚長=11日午前(松崎浩一撮影)

### 田母神前空幕長

## 懸賞論文、紹介認める

### 参院委招致 応募指示は否定

参院外交防衛委員会は十一日午前、侵略戦争を否定する論文を発表し、更迭された田母神俊雄前航空幕僚長を参考人招致し、質疑を行った。田母神氏は懸賞論文の募集を航空幕僚監部の教育課長に紹介したことを明らかにした。

### 憲法9条改正を主張

田母神氏は同時に「的に応募を指示した」と論文の案内をフリップで「私が論文応募を空自」とはしないと主張した。で通知していた。田母神氏が「指示をすれば、ただ、教育課は「自神氏以外にも九十四人」を越える数が集まる「已昏発に役立つ」とし「航空自衛官が応募し」と思つてと述べ、直接「全国の基地に懸賞した懸賞論文をめぐって」と述べた。

「航空自衛隊トツブ」の紹介をきっかけに、事実上、組織的な投稿の動き掛けがあったことが明らかになった。田母神氏は、浜田清一防衛相が応募金の自主返納を求めていることについて「その意思はない」と拒否する姿勢を示した。

田母神氏は民間会社「アパグループ」の元谷外志雄代表との関係に関して「単代を含め資金提供は一切受けていない」と不適切な関係はないとした。一方、浜田氏は、元

「日本が侵略国家だったはぬれぎぬ」  
「私は間違っていない」  
「国民に不安を与えたことはない」  
「憲法9条は直した方がいい」

11月11日  
東京新聞  
夕刊

(文中の赤線は編集のものです)

谷氏が昨年八月、田母神氏の決裁を受けて、空自の戦闘機F15に体

関連の場面

田母神俊雄 侵略国家だったなどと、前航空幕僚長 いうのはまさにぬれぎぬ」と主張し、侵略と植民地支配を認め謝罪した1995年の「村山談話」や政府見解を否定。政府の憲法解釈で禁止されている集団的自衛権の行使容認を事実上求めた。

田母神氏は論文について「私は間違っていない」と思っている」と改正を主張。「自衛官の言論を政府見解に沿って統制するのはおかしい」と述べた。憲法九「い」とも述べた。

条に関しては「国を守護するために必要」といふ見解が割れるもの、は直した方がいい」といふ改正を主張。「自衛官の言論を政府見解に沿って統制するのはおかしい」と述べた。憲法九「い」とも述べた。